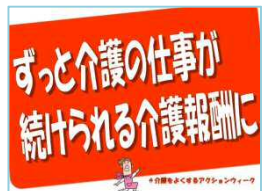


# 「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」 STOP！介護改悪 介護ウェーブ2015推進ニュース -介護の“Big Wave”を広げよう！-



## 介護をよくするアクションウィーク

### 11月7日～14日 元気に取り組みましょう

各地で秋の大宣伝の予定が組まれ、自治体懇談、地域シンポジウムなども開催されています。「必要な人に必要な介護を」実現するために、創意工夫した取り組みをしていきましょう！



★11月7日(土) 13～17時 「介護学習決起集会」～介護に笑顔と希望を～  
in 中央大学駿河台記念館 370号室

★11月11日(水) 10～18時 介護・認知症なんでも電話相談  
フリーダイヤル：0120-287110 (全国共通番号です)

## 特定事業所集中減算・各地の状況



各自治体から出された特定事業所集中減算の除外要件です。

**【北海道】** 苫小牧市では「主治医の訪問看護指示書でも本人の希望に基づくととらえ、本人の希望選択と考える」など「正当な理由」を柔軟に対応する回答が出されました。旭川市では、「サービスの質が高いことによる利用者の希望を勘案した場合などにより特定の事業所に集中していると認められる場合」に、サービス提供体制加算を算定している事業所がある場合にその事業所の利用者を除外して計算すると80%となる場合、という例が示されています。

**【埼玉】** 「サービスの質が高いことによる利用者の希望を勘案した場合などにより特定の事業所に集中していると認められる場合」は、「正当な理由」として除外されます。

**【東京】** 8月18日にQ&Aが出ていますが、「東京都福祉サービス第三者評価を受診して公表に同意した場合」が対象。

**【京都】** 府では第三者評価を受診している事業所は今まで通り除外。今まで京都府では、助成は出ないがメリットがあるとして受診をうながしてきた経過があります。

**【大阪】** 枚方市は医師会が訪問看護を指示したものは除外となりました。大阪府でも集中減算の要件が緩和された文言が出されています。

**【福岡】** 福岡市は「サービスの提供にあたって指示を受けた主治の医師等との密接な連携を確保するため、特定の事業所に集中していると認められる場合」は除外としました。「サービスの質が高い」とは、国のモデル事業を実施しているサービスの場合などを指します。

前回の

## 介護をよくするアクションウィーク～続き

### 石川

介護職種部会総会  
でアクション  
→



右の2枚は、「アクションウィークやすらぎ版」のフラッシュムービーからです。やすらぎデイのフェイスブックはこちら↓

<https://www.facebook.com/pages/%E3%83%87%E3%82%A4%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%93%E3%82%B9%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%82%84%E3%81%99%E3%82%89%E3%81%8E/531012497007376?fref=ts>



# 近畿地協

堺筋本町の駅で、  
街行く人に  
地協の介護職集会実行委員会で  
アクション



# 神奈川

いい介護がしたい!笑顔が見たい!とケアマネ連絡会でアクション



ずっと介護の仕事が続けられる介護報酬に!と介護福祉委員会&県連事務局がアクション

11月10日(火) 12:30~13:30に横浜駅西口高島屋前で「介護の日行動」を行う予定です。

# 東京

東京ほくと医療  
生協は介護シン  
ポジウムで  
アクション



# 埼玉

卒2研修で  
アクション





## 群馬 おそろいのポロシャツを着て

介護ウェアフーズ行動でアクション



## 山形 健友会は健康講演会で、「良い介護を提供したい」とアクション

7月18日健康講演会が開催されました。

開始前の貴重な10分間を頂いて、私たち介護職が働く現場にある思いを形にして訴えました。4月からの介護報酬改定、介護職員の減少など、現在の高齢社会を取り巻く環境は厳しく、問題は山積みです。

これに参加した健友会の介護職員は、模造紙に作成された『いい介護がしたい、みんなの笑顔が見たい』を掲げて登場！会場のスクリーンには、日々笑顔で活き活き仕事に取り組むスタッフの姿が映し出されました。会場のみなさんは静かにご覧になり、なかにはそっと涙する方もいらっしゃいました。この取り組みを皆さんで情報共有して頂き、思いの『輪』を広めて知り合える仲間作りをしていただければと思います。

今後も、私たち介護スタッフ・介護サービスを利用される方・ご家族にとって、厳しい状況は続くものと思われれます。そんな中でも、私たちは仕事へのやりがいと希望を持ち続け頑張ります。(ひだまり：柴田)



## 北海道 こちらはおそろいのTシャツを着て、介護ウェアフーズ行動でアクション



お問い合わせは、「介護ウェアフーズ推進本部」事務局：吉澤・諏佐（すさ）  
☎03-5842-6451 / fax03-5842-6460 E-mail : [min-kaigo@min-iren.gr.jp](mailto:min-kaigo@min-iren.gr.jp)